

平成26年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

番号	会場名	項目	出された意見・提言等	回答
1	久世会場	第2次総合計画について	若い人が参加して作成したことは大変良い事であるが、1月の臨時会では十分な論戦が出来ていないのではないのか。	総合計画については議会全員協議会を4回開催し協議し、議会として意見を出している。
2	久世会場	第2次総合計画について	市民をいかに総合計画に巻き込んでいくのか。何か旗印が必要ではないのか。	方向性は出来たので中身をこれから策定していく。策定する際に市民参加を求めていきたい。
3	久世会場	議会及び議員に対するもの	真庭市の議員定数をどう考えているのか。	次期の議会運営員会で協議を開始する。
4	久世会場	真庭市議会地域報告会について	会場の看板が報告会になっており、議会側が報告するだけで、市民の意見を聞く気はあるのか。	平成25年度から議会基本条例を施行している。その中で年に一度地域に出掛けて行って、議会報告会を開催する事を掲げている。
5	久世会場	社協に対する補助金の支出について	百楽苑を閉鎖する事について、いかに継続していくか議会は真剣に考えたのか。	百楽苑は社会福祉協議会が所有している施設ですが、これから百楽苑をどうするのかという事について、我々議会の中にも社会福祉協議会の中にも、議論の必要性は残されていると考えています。市も社協との協議を続けていくということを確認しました。
6	久世会場	ささぶき苑について	ささぶき苑の民設民営化という方向性が出てきていると聞かすが、どのような経緯で出てきたのか。	平成26年12月定例会、一般質問で3人が質問したことに対して、市長が民設民営でいきたいという自分の思いを答弁した。
7	久世会場	ささぶき苑について	民設民営化というのは、市長が独断で決めたという事か。	議会が決めたとかという事ではなくて、市長が一般質問に答える形で、真庭市としての整備の手法として、民設民営でやりたいと方針を示した。
8	久世会場	ささぶき苑について	民設民営でやるので、設置場所については市としては何も言わない、関係ないとハッキリと言われた。とある議員の報告に書いてあるが本当か。	本当である。それは市長が答弁の中で民設民営という事であるから、民間事業者がベストな場所を選定するというように答弁した。
9	久世会場	ささぶき苑について	市長が民設民営という提案をした。議会はそれに対してどういう反応をしているのか。議会が黙ってはいけぬ。	3月25日の文教厚生常任委員会において、再度、養護老人ホーム建て替え整備基本方針(案)、公募要領(案)が示され説明を受けました。
10	久世会場	地域活性化について	どうやったら若者が定住してくれるのか。働くおとうさん、おかあさんは子育てが大変だ。義務教育は無料であるから子育てを無料にするというのはどうか。	そうなれば良いと思う。財源の問題とか地方創生の中で、子育ては大きなテーマになっている。子育てがしやすい真庭市を作っていけるように、議員の方からも提案して行きたい。
11	久世会場	指定管理者制度について	クリエイト菅谷に宿泊した際に、金額はよく分からないが1人、1万5千円で済んでいたものが、真庭市になって指定管理者制度になったら1人、5万円くらい支払いしなければならなくなったと聞いた。	美甘支局で調査したところ、過去1年間(H26年2月～H27年2月)で4万円を超える支払は14件で、多人数利用又は2泊以上利用の場合であり、1人当たり5万円程度の支払いの事実はないとのことでした。使用日時がはっきりしないことには調査のしようがないため、料金表を提示します。

平成26年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

12	久世会場	指定管理者制度について	蒜山ヒルズに宿泊する際に、3千5百円で泊まれるところが、4千円を徴収していたとMITで放送されていた。過徴収分は全部返金したけれど、まだ1人だけ返金していない人がいると言っていた。	言われる通りであり、指定管理者に協定違反があったという事を指摘した。現在指定管理者がきちんと対応しているところである。指定管理に出しているといっても市が行っている事に変わりがない。施設の利用料金は条例で定めており、指定管理業務を受けている団体は、条例に基づいて利用料金を徴収している。
13	久世会場	地域活性化について	年寄りが増えれば楽しい真庭市という、まちづくりをお願いしたい。年を取れば楽しくなるという話はないのか。	平成27年4月から第6期介護保険計画を策定する予定である。高齢者が集まって自らが新しい支え合いの場とか、そういう物を作っていくことによって、本当に楽しい明るい地域社会が作れるのではないかという事を提起している。津黒高原荘では新たに薪ボイラーを導入し、燃料の薪の供給を地域の高齢者の方々に依頼する計画である。地域の人にとっては小遣い程度にしかならないかもしれないが、地域で活動する楽しみになるし、経済の地域循環を試行しようとしている。
14	湯原会場	社協に対する補助金の支出について	補助金を減額されるため、老人クラブは平成27年度一杯で自立し、自分たちで事務をするようにと社協から言われており、各地の組織が苦慮している。このままでは老人クラブの組織が弱体化して組織の消滅につながる。年寄りを見捨てるのか。	老人クラブは地域によって活発な活動を行っているところとそうでないところがある。若い人が入らず組織が弱体化していることは理解している。自らの力で活動しない老人クラブに対して行政は十分な対応をしないと思う。事務も行政に頼らず出来るだけ自分たちで頑張りたい。
15	湯原会場	地域振興について	合併の取り残しの事業を各支局に配分してはどうか。各支局の活動の状況が見えない。支局単位で独自の活動が出来るようにするべきではないか。	平成27年4月から機構改革を行い、各支局を振興局に改称する。ただ名前を変えるだけではなくて、ある程度権限を持たせて予算編成をして事業実施する。これまでは予算を本庁から支局に配当していたが、支局毎に編成するようになる。
16	湯原会場	地域振興について	バイオマスやCLTも大事だが、温泉は真庭市民の共有の財産である。温泉本来の短期保養形のエコヘルシーエリア真庭という事で、健康づくりを生かした事業を第2次総合計画に組み入れて欲しい。	温泉が良いのは分かるから、湯原温泉にはよく来ている。湯原全体の地域の町おこしがどうなっているのかと言うことも必要ではないか。湯原のまちづくりをどうするべきかということ、地元の人も含めた上で考えていくべきだと考えている。真庭市には湯原が必要であると言うことはよく分かっているが、地域全体で取り組んで営業努力もしてほしい。
17	湯原会場	地域振興について	真庭は久世を中心に活動してはいないか。行政と住民が寄り添って地域の在り方を考えないといけないと思う。将来人口が減少していく中で、二川地区の地域振興計画策定をやってくれるのか。地域の事は地域で考えているが、行政が地域に寄り添って計画策定をやってくれるのか。	将来、地域が消滅しはしないかと心配している。地域の活動を支えるのは老人クラブであると思っており、高齢者が地域を支える仕組みを作っていくことが大事であると思っている。これまでのように行政が計画を作っていくことや画一的なビジョンを作っていくことは無理である。地域によって気象条件、文化、産業が異なるので、地域の皆が中心になって計画策定をすることが大事である。自分たちで考えて自発的な行動をする所には行政から手を差し伸べられる。
18	湯原会場	公共下水道の事業実施について	公共下水道をやってくれると思っていたが 全然進んでいない。旅館が全て加入しないと実施しないというように聞いた。市の上流側からやるべきではないのか。	下水道については市内全域で事業見直し中である。下水道会計が赤字続きである。加入率が低すぎて下水道会計が市の財政を圧迫している。湯原地区の公共下水道加入率が100%になれば、優先的に事業実施すると思う。
19	湯原会場	憩いの家について	憩いの家をどうするのか。	個人的には解体して更地にすべきだと思っている。
20	湯原会場	湯原支局の新改築について	平成26年度から湯原支局が新しくなると思っていたが未だ何ら動きがない。今度は振興局になると聞いた。どうするのか。	湯原支局の立て替えは落合支局の後だと思っている。湯原建て替えの話が出てきたら賛成する。

平成26年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

21	湯原会場	湯原支局の新改築について	湯原支局の庁舎は建てないと聞いているが建てるように市長にしっかりと申し入れをして欲しい。	市長は単独庁舎だけの整備は行わないと答弁している。具体的な案はまだだが、いくつかの機能を一緒にしての整備を考えていると思う。整備した施設を何に使うのか、案をしっかりと出して欲しい。
22	川上会場	農業振興について	昨年は米価が大幅に下がった。こんな価格ではコスト割れしてとてもやっていけない。これからの米作りに対して農家はどうしたら良いと市議会は考えているのか。	米価が安い事を我々一地域がどうすることも出来ない。しかし一つの方法として、個人や集落営農に取り組んでいる人は独自で販売ルートを開拓するという取り組みが必要であると思う。
23	川上会場	議会及び議員に対するもの	6月定例議会の陳情第4号の「集団的自衛権についての憲法解釈の変更についての取り扱い」についての論戦の報告の中で、一地方自治体の中でこういう決議をする事は困るのではないかと、あるいはすべきではないのではないかとという趣旨の報告があったが、大いに議論をするべきではないか。	我々議員はそれぞれがそれぞれの異なった意見を持っている。また各委員会でもそれぞれ、色々な意見が出ており、各議員の意見は千差万別で、賛否両論である。だからある一つの見解に皆の意見をまとめて意見書を作成し、提出するという事は非常に難しいのが現実である。よって多数決をとって意見を集約するのは難しいのであろうという趣旨での発言であった。
24	川上会場	人口減少問題について	経済的なことも大事だが文化的な教養を高めていくことが大事ではないか。市民の文化的なレベルや教養を高めていく事が必要である。そういう政策が考えられていないのではないか。	本日の報告内容のまとめの中に、文化という言葉を使っていなかった。学力向上や人材育成のための新たな展開という言葉を用いて報告した。議案として提出された総合計画の中に、生活の中で文化を楽しむということは盛り込まれている。
25	川上会場	人口減少問題について	進学のために人口が減る。真庭には高校が4つある。全部校地が付いている。なぜ全部に校地が付いているのか。その事に対して市は何か手当をしたのか。	県教委とは我々議会も含めて、何度も存続について協議した。何もしていないという事ではないが、学生の数が急激に減ってきたことに起因している。県の意向に押し切られた形で至道高校、湯原高校が廃校になり、蒜山と久世が校地になった。
26	川上会場	総合計画について	市のホームページに入って総合計画を読んでと言われ、読んでみた。しかし、具体的なことは何も書いていない。いくら読んでも何をするのか分からない。	市民の方に多く参加していただき策定した。具体的な戦略についてはこれから入っていく。機構改革によりこれからは蒜山の課題は蒜山振興局から出してもらい、それに向けて戦略計画を立てるということである。蒜山は蒜山で戦略計画を立てると思うので、その策定の為の会議のメンバーになり建設的な意見を出して欲しい。
27	川上会場	高齢者の労働環境の改善について	蒜山でえのきを生産している現場では高齢者が20kg位のものを持たなければならないと聞いた。5kgとか10kgにすれば65歳になっても70歳になっても働く環境が出来る。そういう事に市の予算を振り向けるとかして、高齢になっても地域で生産活動に従事できる、仕事出来るような仕組みを作っていくことが大事ではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターに登録し、草刈り・ヒエ抜き等の農作業に従事されている。 ・JAまにわが、省力野菜としてミニ白菜やミニ大根等の試作に取り組んでいる。 ・市内の直売所やまにわ市場に出荷してもらおうよう、更に呼びかけを行う。などの取り組みがなされています。
28	川上会場	高齢者の移動手段の確保について	コミュニティバス「まにわくん」の運行本数を増やして欲しいということは簡単にいかないと思うが、ルート改訂や運行回数の改訂の際に、老人の意見を聞いてもらえるような制度を考えて欲しい。	まにわくんの運行ルート、回数の変更については、年に1回真庭市地域公共交通会議を開催して協議している。これには各支局、振興局からも参加し、地域の代表の方も参加して意見を述べている。一番の利用者は高齢者の方だと思うので、そういう方の意見を聞いて会議の中で議論をさせて頂きたい。

平成26年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

29	川上会場	市から社協への補助金削減について	真庭市社会福祉協議会に助成金が出ているが8千万円の減額になると聞いた。そんなに減額すると大変なことだと思う。	真庭市社会福祉協議会には市から色々な趣旨のお金が支出されている。本来は市がやるべき仕事を社協に業務委託して委託費として支出しているものなどがある。年間約1億2千万円程を社協の運営に係わる助成金として市から支出している。平成30年位を目途に約6千万円程を削減するということになっている。社協と市の関係はというと、業務の線引きをどうするのかということによって協議を重ねているところである。
30	川上会場	議会報告会について	前回の議会報告会は夜間の開催であった。時期的には今頃でも良いが、次回は平日の夜間開催が良いと思う。前回は本日の3から4倍の人が来た。そういう中で意味のある意見が沢山出たと思う。	次期の議会運営委員会のメンバーに申し送り、検討してもらう。
31	川上会場	バイパスの通行止め解放について	蒜山インターから観光ゾーンにバイパスが通っている。冬期間は除雪経費が掛かるからと冬期間通行止めになっている。春先にバイパス上には雪が溶けて何も無い状態でありながら、蒜山大山スカイラインの除雪が出来るまでは完全に閉鎖している。スカイラインとバイパスの同時解放ではなく、それぞれでの解放が出来るように見直して欲しい。	調査の結果、当該箇所の冬期間の通行止めの解除については、県道大山上福田線は例年4月中旬以降なのに対し、市道蒜山高原線は3月の下旬に解除している。その年の雪の状況にもよるが、3月中旬に除雪作業を行い、雪崩等が発生しないことを確認し、通行止めの解除を行っています。
32	川上会場	蒜山ヒルズについて	指定管理者が変わって費用が不条理なほど高騰してとても驚いた。以前は昼時に食事の提供があったのに、今は昼の食事が出来ないから使い勝手が悪い。稼働率は低下していると聞いているが、どうなっているのか。	蒜山ヒルズの件は指摘の通りである。産業建設委員会の中でも苦情があったり料金の問題があり、改善命令を市から出している。今、2回改善命令を发出している。これ以降も問題が続くようであれば、指定を取り消すということも産建委員会では意見が出ている。改善命令を守れなかったら、この業者には2度と指定管理業務を行わせないという方向になる。
33	川上会場	市有空き施設の利活用について	真庭工芸会に所属している。昨年9月に活動場所として、やまびこスタジアムにある産業学習館の稼働率が低いからそこを拠点にして活動したいと思ったがダメであった。営利を目的としない建物を指定管理にすると、地域の人々が自由に入出入りできずに有効に利活用できないので残念である。非営利施設は地域住民が自由に入出入りできる、地域振興の拠点としての施設にして欲しい。	産業学習館は、スポーツ施設に位置付けられた有料の宿泊研修施設です。現在もスポーツ少年団等のスポーツ団体や他の団体が使用されており、空き公共施設ではありません。真庭市では、今後、公共施設の統合・複合化並びに用途廃止により空き施設も増えることが想定され、空き施設の活用方法の検討の中で、真庭市の伝統産業でもある木工芸の振興を図ることが重要であると考えます。
34	川上会場	高速道路料金の割引について	高速道路の通行料金割引がなくなってきて、地方に足が伸びなくなってきている。真庭市から全国を変えるという意気込みで、高速道路通行料金の割引案を国に意見として提案して欲しい。	高速道路利用料の件は、国、県に働きかけていきます。
35	落合会場	第2次総合計画について	総合計画の真庭市図書館について、教育委員会と図書館の機能・課題について、現在どこまで審議されているのか。	市政の最重要課題の1つで、先生方からご意見を頂き、教育委員会を中心に審議中であります。各関係者と連携をすすめて、真庭市全体で「本の香りがするまちづくり」を進めてまいります。
36	落合会場	議会地域報告会について	今日の議会地域報告会について、やられる意味がさっぱりわからん。この程度の議会報告は読んでみればわかる。簡単なことを今日持ってくるという事がさっぱりわからん。	ご意見ありがとうございます。

平成26年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

37	落合会場	人口減少対策について	人口減少が課題である。真庭市の人口減少をどう止めるのか。真庭高校は地域との結びつきに取り組んでいる。中学・高校から地域になれ親しみ、中高生の生徒を中心に、地元の地域創生を基本的教育として取り込んでいただきたい。	貴重なご意見であり持ち帰る。
38	落合会場	議会地域報告会について	報告内容がさっぱり分らん。議会の方々に市民から要望があります。そういうことを前提にして報告会がある。議会の結果報告は見たら分かる。	ご意見ありがとうございます。この地域報告会は議会で進め方を話し合っ て決めております。
39	落合会場	人口減少対策について	人口問題について、色々と若い人とコミュニケーションをはかるが魅力がない。住みたいという魅力がない、子供を育てにくい地域であると聞く。どう いうことか分からないが、働く所と、人間づくりが大切という話が多い。	貴重なご意見であり持ち帰る。
40	落合会場	地域活性化について	高校進学で津山の学校に行くとかで、真庭市の学校では大学に入れない雰囲気がある。高校の存続、県の位置づけ等議会のチェックが必要である。	貴重なご意見ありがとうございます。
41	落合会場	第2次総合計画について	総合計画について、バラ色の計画、立派な計画であり、どう育てていくの か、どう実現していくかが問題。真庭の人間ひとり一人の考えをどう実現する のか。実現をするためには、問題提起をし、一緒に考えることが大切だ。	貴重なご意見ありがとうございます。
42	落合会場	県議会議員選挙について	12月1日、現職県議宅に市長と市民の方が2人で訪問して、市長が自分から「選挙しない方がよい」「引き際が大切」と言われたと現職県議から直接聞いた。議会の方々に話して適切に対処してもらいたい。議長に手紙を出したが、12月31日から現在まで返事がなく無視された。議会の返事がない。	この件については、事実関係が正確でない。市長個人の政治責任で自ら対応される。議会として関与しないと議会内で話している。
43	落合会場	県議会議員選挙について	議会のどういう所で話しをしたのか。	議長、副議長と共に1月5日、新年互礼会の日に市長に面会し手紙を見て頂き、事実確認をした。市長は、この文章の「無投票にしたいので」は事実ではない。自分の政治信条、信念でやったことです。議会には関係ない。私個人で対応すると申された。
44	落合会場	市役所職員について	「担当者がいないので分かりません。又、来てください」、「書いてあるとおりです。真庭市で決まったことです。」と職員の発言があった。行政はこちらの意見を聞かない、聞く耳を持っていない。議員は市民代表として詰めてもらいたい。	この様なご意見があったことを執行部に申し伝える。
45	落合会場	講演会について	議会主催で「里山資本主義」の講演会があり、多くの皆さんが来ていた。後に藤原先生の講演会がありましたが、残念ながら少なかった。大切な予算をかけており、主催者の責任がある。宜しくお願ひしたい。	平成26年11月29日（土）18時30分から勝山文化センターで開催された人権講演会ですが、PRについてはチラシの全戸配布や告知放送、MITでの放送を行い、250名の参加がありました。今後もPR活動に努めることを確認しました。
46	落合会場	子育て支援について	保育施設が大切です。子育て支援が一番だと思うし、子供がいなければだめです。議会と執行部が手を組んで子育て支援をよろしく頼む。	子育て支援に力をいれる環境づくりして参ります。

平成26年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

47	落合会場	バイオマスについて	真庭市のバイオマス関連事業について、何人新しく就職されるかが不安材料。集成材のCLT建築方式はどこまで普及するのか、実態把握し説明して頂きたい。具体的に、次会報告会で説明できるようにしてほしい。	バイオマスに関する就職者数は200名程度を見込んでいる。CLTについては28年度に国土交通大臣の認可がおりる予定であり、認可後は普及が進んでいくと思われます。
48	落合会場	県議会議員選挙について	今回の県議選について色々でているが、市長は公職ですからどうして質すのか。議会できちっと説明し謝罪する。議会という公の場所で謝罪姿勢を見せる。政治倫理の問題としてきちっと対処するよう要望する。	貴重なご意見ありがとうございます。
49	美甘会場	美甘中学校統合について	中学校の統合問題で説明会に出席しました。この計画は何年ごろから決まったのか。PTAは平成26年3月、一般住民は平成27年1月12日に初めて説明会で聞いた。今までの経過についてお尋ねいたします。	平成22年1月に「真庭市立小・中学校適正配置について」答申が出され、「真庭市立小・中学校適正配置実施計画」を平成23年1月に策定した。中学校については、小規模校（1学年生徒数概ね10人程度）について適正配置を進めることになりました。第2段階、平成29年度末までに方針の決定する学校に、美甘中学校が含まれています。
50	美甘会場	美甘中学校統合について	やり方の問題で腹が立つ。住民を無視したやり方で、この間のは説明会ではなく、平成28年4月から実施するという報告だった。何故もっと早く住民サイドに提示されなかったのか問いたい。何故もっと早く手を打って下さらなかったのか、切ない思いを持っていたので話をした。	美甘中学校の統合は断腸の思いで計画した。美甘小学校から美甘中学校に入学しない人が多くなった。生徒自身がどう考えるのか、教育の部分、競争のない環境、途中で抜けていく生徒。人生80年が競争社会である。ひとり一人を大切にしたい子育てを考えると、やむを得ない統合であり、今後も教育委員会と議論して参りたい。
51	美甘会場	美甘中学校統合について	議員の皆さん、今後の子供のケアを十分できるように、よろしく頼みます。	実施計画の中に具体的内容を記してありますので、教育委員会と話していきます。
52	美甘会場	県議会選挙について	議長あてに公開質問状が届いたと聞いた。中身は現職県議宅へ市長が行って、「降りろ」「無投票が良い」という内容で、これが事実なら大きな問題だと思いが。	議会の統一的な見解として、事実関係が明確でない。相対しての確証がない。市長個人の政治信条、自らの責任で対応する。市長に直接抗議して下さい。以上のようなことで、議会には関与しない。1月5日の互礼会の日、議長と副議長が手紙を持って市長に会い、手紙を見て頂いた。「行ったのも事実」「数々の実績があり、勇退されたら・・・」しかし、「無投票にしたいので、出馬しないでください」とは私は言っていないと言われた。その手紙を持って市長に口頭で、「市民に誤解を与える行動はしないように」と議長申し入れをしようとしたが、私の政治信条、個人でやったことで、議会には一切関係ありませんと言われた。
53	美甘会場	施設使用料、補助金等について	色々な施設の使用料が上がる問題で、市民の負担とか、婦人団体への助成金とか補助金を減らすのか。議会の中でどのような事になっているのか。	合併特例交付金が減額されて行くため、執行部がすべてを見直している。スポーツ施設等とか学校施設等の見直しも行われ、各種団体も例外なく見直しをされる。
54	美甘会場	施設使用料について	スポーツ施設の使用料が上がる問題について、どのような考えか。	体育館、公民館の使用料について、市内ではばらつきがあり検討している。スポ少、体育団体等と協議して、全体レベルで調整をしていく。

平成26年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

55	美甘会場	バイオマスについて	バイオマスとよく言われるが、美甘地域についてバイオマスの有効活用について聞かせてください。	美甘の特性を生かしていく。バイオマス関連事業で約250人の雇用が発生する。美甘地区もオール真庭で、民の発想のなかで、官が手助けし、回る経済を構築する。実質平成27年4月から真庭全体でやっていく。
56	美甘会場	第2次真庭市総合計画について	総合計画の中で、真庭ライフスタイルについて、漠然と夢のような事では実際わからない。議会の中でどのような事になっているのか。	「真庭ライフスタイル」とは、普通の生活が持つ価値を再確認し、それが豊かであることを確信することから始まり、時代や環境に合わせて地域資源の中から「真庭市で生きる価値」を自分の手で作り上げていく生き方、誇りを持って生きていく考え方、互いを尊重した暮らし方そのものを言う。
57	美甘会場	地域活性化について	普通の生活が出来なくなっており、不安なことが一杯あります。総合計画ができたが、他にも困っているという事に議会は目を向けてくれるように望みます。	平成27年9月には、地域ビジョンがまとまる。富原地区では法人化して、輸送サービス、助け合いサービス、買い物手伝い等、地域を住民で支え合うことを提案している。
58	美甘会場	市役所について	機構改革について、教えてください。	平成27年度より機構改革で支局が振興局という名称になり、予算、立案、権限を持つ。美甘地域も十分計画を取り入れ、対話しながら進めていく。
59	美甘会場	ふるさと納税について	ふるさと納税について、登録要件に不信感がある、もう少し要件をきちっとして下さい。議会の考え方を聞かせて下さい。	現在、真庭市ふるさと応援交付金の交付対象団体は、基本的に交付金活用登録がされている地域自主組織とされていますが、平成27年4月1日から地域自主組織による連合組織が活用団体に登録出来るように検討がされています。
60	美甘会場	高槻市場について	アグリネットワークの高槻の直売所について、今の販売所の状態は厳しい。今後、高槻販売所をどういうものにしていくのか、議会の考え方を聞かせて下さい。	民間のノウハウを活用し、採算性の確保を図り、直売だけでなくレストラン等の運営によって、さらに真庭産農産物の販路拡大を図るため、真庭あぐりネットワーク推進協議会を構成する事業者、団体を中心に、法人化に向けた法人設立準備会を平成27年2月13日に発足。今後、準備会において新会社の体制及び実施事業等を検討し、5月には新会社設立発起人会を立ち上げ、6月には新会社を設立する予定で協議を進めている。
61	美甘会場	有害鳥獣について	川に遊びに行くと、石を動かすと魚がいっぱいたが融雪剤のせいで魚がいらない。また、猪、猿が出て困っていることを知って欲しい。	融雪剤と河川環境についての因果関係は難しいが、河川の水質については岡山県が調査を行っています。猿については、今年度予算のとおり増額して対応しています。
62	美甘会場	議会及び議員に対するもの	以前、市議会でも中選挙区制のアンケート取った事があるが、時期早々に取りやめになったが10年経った。次期改選が2年後にありますが、これに対して考え方をお知らせください。	全国的に中選挙区制度が岐阜にありましたが、住民からの要望で選挙をやり直し駄目になりました。難しい問題であります。

平成26年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

63	八束会場	北部火葬場について	北部火葬場は現在工事中ですが、火葬場付近の道路改修、除雪はどうなっているのか。	県境まで除雪は行います。道路改修、除雪、畝の松並木の手入れが条件であります。
64	八束会場	地域活性化について	地元の農業大学生たちに声をかけて、積極的に良い技術を持った人を地元で受け入れることが大事である。新しい対策を。	調査の結果、真庭市としては農業参入を行う企業等に対する支援、集落営農組織の法人化への支援を行い、経営リスクを軽減し、安心して農業に携わることができる環境をつくり、真庭への受け入れを進めたいと考えているとのこと。
65	八束会場	子育てについて	気がついたら八束こども園のバスの送迎が無くなる。市内の悪い方の事例に合わせる事が許せない。	平成24年度に策定した「真庭市幼・保育園整備計画」に基づき、認定こども園の設置を進め、平成26年度4月より「八束こども園」が発足した。園児の送迎は八束地区だけだった。市内全部の施設ですればいいが、予算的に駄目というのが現実であります、持ち帰ります。
66	八束会場	第2次総合計画について	人口4万8千人が25年後には3万2千人と言われ、勝山・久世・落合以外の、残りの地区は消滅すると言われた。蒜山の人口はどれぐらいか、予想されているのかお聞きしたい。	八束地域の人口は減少傾向ではありますが、市内の他地域に比べ年齢構成は安定している地域であります。狭いエリアでの人口推計は難しく、現段階での公表は誤解を招く可能性がありますので、今後、各地域の振興策を検討する中で提示されていくこととなります。
67	八束会場	河川災害について	河川について、去年の台風で川が増水、田んぼが川になり、水が滝のように流れ、手のほどこしようがなかった。何とか考えてほしい。	豪雨は生活に密着した事象である。県は残土置き場がないというので、今回必死で新設残土置き場を確保した。県の予算確保を要望して行く。
68	八束会場	指定管理者制度について	蒜山ヒルズと快湯館の指定管理について、どのように議会は理解しているのか。現状は円滑に運営されているのかお尋ねする。	指定管理議案が提出され、議会で議決したが、委員会で付帯決議を付した。振興局は管理監督、指導する立場であり、色々な状況を把握し、現在も注視している。
69	八束会場	バイオマス事業につて	バイオマス産業について、実際に木が集まるのだろうか。登録していないと搬入できない。蒜山地区はバイオマスがプラスになるのだろうか。バイオマスについて、もっと分かるように説明してほしい。	木質資源の搬出について、雑木は単価が安く、発電資源には難しい。人工林の間伐材は、森林組合に申し込みカードを頂くと搬入できる。森林組合に申請していただきたい。また、木質資源の材料搬入については、真庭で生産された木材であることの証明が必要であり、森林組合が生産者であるという証明を行う。バイオマス発電はその証明がなければ売電できない。
70	八束会場	地域報告会について	議員の地域報告会について、日程を急に聞いた。書き物を見ていないし、広報不足である。	次期の議会運営委員会のメンバーに申し送り、検討してもらう。
71	北房会場	財政について	真庭市一般会計の中身についてどうなっていますか。	一般会計とは、教育や福祉、土木といった行政サービスの経費を賄うための会計で、歳入の総額は約321億円で歳出の総額は約307億円で、差し引き約14億円になっているが、この中に翌年度に繰り越して行う事業の経費も含まれている。その経費を差し引いた約11億円の、真庭市の実質的な収支となり、数値上は黒字ということになる。

72	北房会場	財政について	今現在、地方交付税の合併特例分は市に入っていないのですか。	合併した自治体には合併特例措置がとられていて、本来の額よりも多く地方交付税が交付されている。この措置は、合併後10年間で平成27年度から5年間をかけて段階的に減額され、平成32年には上乗せ分がなくなってしまう。今現在は入っています。
73	北房会場	観光について	地域活性化の中で、観光真庭として今まで積極的にやられてきているのに、この中身を見ると観光についてはさらっとしてバイオマス、バイオマスと一辺倒のような気がします、どう思われますか。	500万人誘致を掲げて取り組んできた。現在、真庭市観光振興計画アクションプランで向こう3年間の行動計画を策定中である。市の最重要課題である交流定住施策を実行するために、地域資源の活用や真庭市の認知度アップが大切だ。真庭市を訪れてみたいという関心を持ってもらうことで観光にも繋げていき、500万人誘致を達成するよう努力する。
74	北房会場	観光について	観光客が減っていると思う。原因を考えると、はっきりとは分からないが高速道路も関係していると思う。鳥取道の料金は無料であり、松江道も一部無料区間がある。真庭を走っている米子道・中国道は昨年より料金が高くなっている。県・市・議会が一体となって料金を下げるなり運動をしていただき、真庭の観光の活性化のために取り組んでほしい。	高速道路利用料の件は、国、県に働きかけていきます。
75	北房会場	人口減少について	どこの地域も人口減少問題に直面している。この現実をみると若者の雇用が第一だと思う。人口を増やすということをどう考えているのか。真庭市が魅力ある市でない限り人は来ない。仕事がないところに若者は帰ってこない。雇用について議員の方にも考えてもらいたい。	仕事・雇用の問題が一番だと思う。真庭市が即できるという仕事が、バイオマス関連であるので力を入れている。発電所であったり発電所に対する材料の供給は、永久的に必要なため雇用につながる。県の産業団地ですが、北区は12区画あって残りは2区画となっていて現在商談中となっている。南区は18区画あって残りが9区画である。商談中が1区画、提案中が1区画、内定が2区画である。かなり良い条件を出しているし、平成27年度から県も助成を一部増強すると聞いている。
76	北房会場	バイオマス事業について	バイオマス関連で、どれくらいの雇用が生まれるのですか。	発電所そのものには20人程度だと思う。それに関連する、山の切り出しの人や流通の人だとか関連する方を含めたら200人規模ぐらいになると聞いている。
77	北房会場	学校統合について	旧至道高校の跡地に学校や保育園を統合して整備すると聞いたがどうなっているのか。	学校の統合で一番大きな要因は、児童の減少である。保育園・幼稚園関係でいうと、定員210人に対して120人しかいない。学校自体も複式学級があったり、児童数が非常に減少している。北房だけでなく全ての学校が同じような現象になっている。保育園・幼稚園を一緒にしたこども園と、小学校・学童保育を1カ所に集めて整備をする計画があり、その1つの柱として今回の整備があります。
78	北房会場	地域産業について	雇用の問題として、大企業を誘致できればいいのだが、大企業は景気の動向で工場を閉鎖したりする。そこで、新たに地場産業を起業しようとする人が1人、2人の企業でも、大企業誘致の場合のように好条件を出して、市が全面的にバックアップするなどの施策を行ってほしい。市も議会も、地元で頑張ろうとしている人を、しっかり支援・応援してほしい。	平成27年度、小規模企業振興基本法が施行される。市長も5人以下の小さい企業にも、積極的に商工会を中心に支援をし、手立てをすることを明言している。真庭市の総合計画は、地域の産業を中心とした産業連携を作って雇用を増やすことを明確に示している。

平成26年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

79	北房会場	学校統合について	北房地区の小学校の統廃合があると聞いたが、これは決定か。勝山中学校と美甘中学校の統廃合の問題では、地元住民には間近になって決定した上での説明会で、非常に対応が遅いとの指摘があった。今後、北房地区の統廃合では、そのようなことのないように対応をお願いしたい。	議会全体での論議はまだないが、文教厚生委員会の中では論議されている。大切なのは、地元住民に了解をいただくということ。27年、28年の2年間で地域住民に十分説明をしていく。総論賛成各論反対ではなく、総論も各論も全て賛成を目指したい。教育委員会、健康福祉部が一体となって取り組んでいく。
80	北房会場	地域産業について	廃材不足になった場合、今後、雑木林に手をかけていくと思うが、山を持っている人はいくらかでもお金が入らないと、木を切るとは言わないだろう。その辺りを考慮して対策を考えてもらいたい。仕事をする者だけが儲けるのではなく、山もとにもお金が入るように考えてもらいたい。	今の計画では、木を全部切って燃やそうという話ではない。間伐したあとに、山に残っているものをもったいないので燃やそうという話である。業者ばかりが儲けるのかということについて、担当者に丁寧に説明をするよう言っている。山もとに少しでもお金が入らないと、木を切ってもいいという話にはならないだろう。今の計画では、間伐後に山に捨てていたものを、燃やそうということなので、そこはご理解いただきたい。
81	勝山会場	教員住宅について	城内に教員住宅があり、現在10世帯が入居している。そのうち8世帯がひとり暮らしの方である。今後教員住宅についてどのようにされるのか。	真庭市には、教員住宅が54棟あり、活用がない教員住宅を用途廃止している。久世が2戸、美甘が2戸、湯原が5戸、蒜山の川上が8戸、中和が1戸、用途廃止し活用の仕方を検討している。
82	勝山会場	公共施設の利用料について	公共施設の利用料の改定について、内容についてもう少し詳しく説明していただきたいと思う。実施時期についても説明をお願いします。特に、富原地区にある勝山富原公民館を利用する場合の改定料金等、詳しく説明をお願いします。	富原公民館は現状維持です。原則、原価計算方式で算定される。市内で使用料金がバラバラだったので、1時間単位で使用料を計算することで統一することが今回の改定の本質です。
83	勝山会場	公共施設の利用料について	勝山は、文化協会の補助金は文化祭の費用でほとんどなくなります。団体に渡しているのが今後使用の場合は有料になるということだが、使用する場合に費用を要求すれば加算するということが解釈したら良いのですか。	要求すれば全て通るというものではない。市内の団体に対していろいろな形で調査すると思う。その中でどのようになるかは執行部が考えることで、この場で私たちが答えるわけにはいかない。
84	勝山会場	学校給食について	学校給食の整備計画について、平成29年度までのスケジュールと計画が決まっているのか、公表されているのか。	市内の学校給食については、現在単独調理方式とセンター方式がある。勝山はセンター方式で提供している。今後は、センター方式に移行する計画である。教育委員会は、真庭市立小中学校給食整備計画を策定し保護者・地域に説明をしながら進めている。
85	勝山会場	学校給食について	真庭市立小中学校給食整備計画の中で、平成29年度から実態を把握しながら給食の業務は民間委託を検討して行くとはっきり書いてあるが、これはどうなっていますか。	今現在、民営化については全く議論に出ていない。センター方式に移行していく中で、配食校と供給校をどのようにまとめていくか、ということで議論が進んでいる。その段階から先はまだ議論されていない。
86	勝山会場	納税申告について	納税申告会場について、合法的なやり方で仕方がないと思うが事前に関係地域に対して何の説明もなく行われた。車を運転できない高齢者が増えてくる時代がすぐくる。会場を簡素化したときに議会はどのように関わってきたのか。	文教厚生常任委員会で相当議論をした。執行部は、人員不足のため是非やらせて欲しいと提案され実施されたが、市民からの意見を聞いて検証する必要があることは伝えている。納税申告の場所と投票の場所については、交通手段のない人のことも含めて検討課題です。議会としても、市民の方の意見をお聞きし改善できることは改善していく。

平成26年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

87	勝山会場	老人クラブについて	老人クラブについて、活動は自主運営しなさい。予算は減額するかもしれないが切ったりはしない。しかし、人は切るといいますが、市民から見ると行政も社会福祉協議会もないのです。今までのように社会福祉協議会の方に事務局を担っていただかないと先行きしない。議会は、行政と社会福祉協議会の問題だからという感じに思える。議会としてどう考えるか。	社会福祉協議会の補助金をカットするという市長の命令があり、そのために社会福祉協議会が人員不足で人が雇えないから、それぞれが事務を含めて自主運営してほしいという方針を打ち出した。陳情書が出て、満額とは言えないが当初の予算より増やした。文教厚生常任委員会では、社会福祉協議会と過去2度お話をして必要な補助金は市から出すように言っている。社会福祉協議会の経営が絡んでいるのでこれ以上は申し上げれない。
88	勝山会場	地域活性化について	地域活性化について、落合から勝山までの堤防を利用したサイクリングロードの整備をお願いしたい。この地域でなければならぬ資源を利用して、人を呼び込む仕掛けを考え、お金を落としてもらおう仕組みを作ることが重要だと考える。	サイクリングロードを整備し、地域をつなげることは重要だ。家族ぐるみや仲間と、岡山から列車に自転車を積み込んで真庭を散策していただくツールとして整備していきたい。市長も前向きな考えをされているので積極的に検討していく。
89	勝山会場	福祉について	報告の中に福祉という言葉が出てこない気がして非常に寂しい気がしている。高齢化を踏まえた福祉施策が、定住化の推進にも繋がると思う。	地域福祉ということで、地域の相互扶助などの機能が失われつつある中で高齢化という大きな地域の中での課題である。地域生活の質の向上のため、地域生活を中心とした健康づくりや支え合いを充実させる必要があると思う。ひとり暮らしの方や障がい者の方の生活支援を地域ぐるみ、自治会の中で行うことが重要だ。また、地域の福祉のあり方を地域で考えて行くことと行政がサポートし支援することが重要である。
90	勝山会場	有害鳥獣駆除について	鳥獣被害について、特に被害が多発している猿の捕獲をお願いしたい。	勝山地域では猿の被害がひどい。福谷の方から連絡があり、家庭菜園が全滅したことを聞いた。県庁の担当課に聞いたところ、猿については平成27年度で生息数を調査するということであった。捕獲後の処理に困るが、現状は殺処分にして埋めている。猟友会との調整もあり今後対応する必要があると思う。
91	勝山会場	指定管理について	ひまわり館について、平成26年度から指定管理者が日本蜜蜂に変わっていた。4月から6月までは、生産者の手数料が15%だったが、7月から20%になったと聞いている。美甘のクリエイト、蒜山ヒルズも含めて議会の方はどう思いますか。	物品販売手数料については、指定管理業者の自主事業のため市の管理外であり、指定管理者と出荷者が協議して決定するものです。
92	中和会場	火葬場整備について	北部火葬場について、新しい施設が完成したら既存の火葬場の取り壊し等は協議されているか。また、真庭火葬場の場所を教えてください。	新しい火葬場の建設については報告で説明したとおりですが、既存の施設の解体等については委員会の方には全く出ていない。真庭火葬場の場所については、現有の場所で拡幅をして旧道の面までを敷地とする。道路改良も行う予定です。
93	中和会場	酪農について	中和の地においても、津黒高原荘に薪ボイラーを設置することになっています。牛を飼っている方が、堆肥と混ぜて作るのに必要なチップが手に入りにくくなっていると聞いた。要因は、チップを作っている工場がバイオマスの方に売るのが価格が高いとのことで、酪農家には入りにくくなっているようですが、議会の皆さんはどう感じているのかお聞きしたい。	以前、地区木材組合から蒜酪におが粉を搬入していた時期があったが、他地区から安価なおが粉が納入されて以降、組合からの納入はないとのことです。バイオマス発電とおが粉の高騰は関係ないと言えます。
94	中和会場	地域の名称について	真庭市が合併して10年が経つのですが、先程から中和地区中和地区と耳にしますが中和ってあるのか。なぜ中和と呼ぶのか。せっかく合併して新しい地域になっているのに未だに呼んでいるのはどうしてですか。議会の皆さんが、中和と言われるのであればもう一度中和・八束・北房など、住所に地名を残すことを検討して下さい。	まだまだ地域にこだわられている方が多い。旧町村の地名を使うことはやめなくてはならないと認識しているが、報告会等を開催するにあたり中和地域という地名を使用している。地域づくり委員会や健康づくり委員会が地名を使用して活動しているように、我々としても活動のエリア的なことで使用している。気になることは議論していかないといけないと思う。議会だけで議論できないので執行部にも申し伝えながら今後の課題とする。

95	中和会場	行政組織機構改革について	行政組織機構改革について、従来蒜山振興局があり各支局があったのですが、支局がすべて振興局になるということで地域住民にとってのメリットは何か。	真庭ライフスタイルの発信による持続可能な真庭市の達成に向けて実施をする。基本方針として、総合計画達成のための所管部局の機能強化、全庁的な連携による地方創生（まち・ひと・しごと創生）及び交流定住施策の一層の推進、シティプロモーションによる真庭市の価値向上、産業政策の一体的な推進、地域振興の拠点としての振興局・支局機能強化を基本方針として行われる。支局を振興局にとあるが、組織体制の見直しということで地域振興に関する役割及び組織内の指揮命令系統の明確化のため、支局を振興局に名称変更する。現在支局には、総務振興課と市民福祉課があるが、統合して地域振興課にする。ただ、市民サービスに関するワンストップ機能として地域振興課内に市民サービス窓口を設置する方向性が出ている。
96	中和会場	学校問題について	真庭高校の落合校地にある看護科について、卒業式に行ったことがあるがその年の卒業後の進路が一人も真庭に残る生徒がいなかった。議会はもちろんですが、地域も上げて、市も上げて対応しなくてはいけない。看護科の生徒を真庭で育てているのだから、全員とまではいかないが7・8割は真庭に残るような施策がとれないものかと思っている。議会も強力で推進していただくよう強く要望する。	真庭市内では、真庭高校の看護科・専攻科の卒業生が市内の医療機関から奨学金を受け、その医療機関に就職する制度があります。平成26年度も数名の生徒が利用し、市内の医療機関に就職予定であると聞いています。議会も強力で推進してまいりたいと思います。
97	中和会場	財政について	市長に会うといつもお金がないと言っている。説明の中に10年後には40億円が5年間かけて減るんだということは当然分かっていたことですが、最近の動きとしてコミュニティ合併や消防団の維持、支所の維持等々で、国も検討していることが新聞記事等で見かける。見直しがされる記事を見ますが、どのような説明があったのかお聞かせ下さい。	真庭市になって、交付税の差額は40億円が上乗せできていた。これが26年度で終わる。27年度から5年かけて段階的に40億円が落ちていくので、上乗せ分がなくなるということです。平成32年からは真庭市本来の交付税の額となり、一般会計でいうと300億円少々です。その中の半分が交付税です。それが40億円減ったら、260億円の予算でこれが成り立つのかということで、どこを切って260億円の予算にするのかが一番心配で市長も危惧している。総務省に全国の合併した自治体の長がよって、特例分（上乗せ分）を維持してほしいと要望活動を行った。消防署や支所の維持が出来なくなるので、維持するために特例分も継続してほしいという要望活動をした。国も動いて、調査したらやむを得ないのではということで、7割分は確保できる状況に総務省も動いている。議会もほっとしているが、最終的には決定をしていない。
98	中和会場	学校問題について	岡山県教育委員会が、優秀な学校に奨励金を100万円贈るという事業ですが、議員の皆さんはどう思われていますか。	各議員が、個人的見解を述べた。総意としては、テストの点数だけで子どもを評価したり学校を評価するのはどうかと思う。優秀な学校とは何なのか、はっきりしていないのが現状である。

99	中和会場	議員報酬・議員定数について	<p>議員報酬と議員定数の件を簡単で良いですからお聞かせ下さい。議論されていなかったらしていないで結構です。この件につきましては、昨年も3点を申し上げた。下手なアンケートは取らないで下さい。合併協で決めた定数及び報酬が守られていない。報酬審議会が云々で逃げられている。今30万円で手取りが20万円少々、やっていますか。だから下手なアンケートは取らないことと、中和にはすでに議員はいません。最終的に選挙は地域と地域の戦争なんです。その辺のことも踏まえて慎重に対応してほしい。</p>	<p>議員定数の件ですが、いろいろな論議があり増やせば良いといった意見もある。人口減が進む中、他市の様子も参考に決めていく必要がある。10万人で28人（津山市）、真庭市は24人、面積が広くてもある程度の皆さんの声を聞きながら、あと2年ありますので、いろいろな意見が出ると思うが議会内で論議する必要がある。増やすとか減らすということを今は言えないが、まじめに論議する。報酬については、我々は差しあげますという金額しか貰えない。県内でも決して高い金額ではないが、新しい（若い）議員が誕生していくためには報酬の額がある程度災いしている現実が正直ある。今もらっている金額が多いとか少ないとかいろいろな意見がありますが、報酬審議会が審議するので我々がとやかくは言えない。</p>
100	中和会場	選挙区について	<p>合併して10年が経つが選挙区についてお聞きをしたい。北房地区は、国政に対しては選挙区が違うということですが、県議選については真庭市で選挙区をもっている。両方の選挙区をもっておられるが、真庭市議会ではその辺のことは議論として出ないのか。</p>	<p>北房地域は選挙区とJA、森林組合が真庭市とは違う。違うが合併以前から行政事務が、真庭圏域との一部事務組合であるとか関連が強かったから、この3つの部分は違うが北房地域全員は真庭ということ。合併の時に住民投票をした。高梁地区に付くか真庭地域に付くかで行いましたが、結果行政事務とか消防事務とかいろいろな面で真庭との繋がりが大きく真庭市に合併した。現在そういう部分もありますが皆さん違和感がないのが現状です。</p>
101	中和会場	学校給食について	<p>学校給食について、八束小学校から搬送するというで決定したのが、蒜山中学校からの搬送に変更になりました。この学校給食については地産地消で地元の方が一生涯懸命野菜を学校にもってきてくれる。また子どもたちにおいしいもの、暖かいものということで行っている。蒜山中学校からの搬送となりますと雪等の問題はどうか。雪で間に合わないことがあるのか、冷たいものを食べさせるのかなど、私達は思うのですが皆さん方はどう思うのですか。</p>	<p>真庭市の小中学校給食整備計画の中で、第一段階として平成27年度から湯原小学校を給食提供校とし二川小学校を給食受配校とする。蒜山中学校を給食提供校とし中和小学校と川上小学校を給食受配校とすることで進めてきたが、気候とか搬送距離の関係で二段階調理が不可能で、下処理施設が手狭になり魚や肉と野菜を混同した形の調理になり、食材の汚染が懸念されることで調理スペースも手狭で中和の食器消毒保管庫も整備できない状況で、無理に設置すると職員の動線に支障をきたし危険な作業になり労働安全上問題があると判断し、変更になった。懸念材料も多いが、その事を十分わかって対応することで給食を提供する。教育委員会もきちんとした方針をもって対応しているのでご理解下さい。</p>
102	中和会場	除雪について	<p>青パトで夏場はなかなか出られないが、冬場は毎日のようにでていますが、その中で雪が多いときに歩いて通学するときに通学路が除雪できていないことがある。電話をすると帰るときまでには何とかといった回答である。車道を歩かなくてはいけないことになり、結構国道になってから車の通りが多くなり車道を歩くのが危険である。市道を通って学校に行っている子どもたちがいるが市道が凍っている箇所が多く危険である。</p>	<p>通学路については、登校時間までには除雪してもらうように、蒜山振興局から委託業者へ依頼しているところですが、今回、教育委員会からも再度、蒜山振興局へ依頼をしたとのこと。</p>
103	中和会場	観光について	<p>前の市長は観光回廊真庭で力を入れていたと思う。中和にもいろいろな方が来ていると思う。公衆トイレが一里塚にはあるが、そこから中和方面には1カ所も無いのが現状です。せっかく来られてもトイレがないということでは不便であると思うが、設置については維持管理とか土地の問題とかあると思う。出来ればそういうことも検討していただければと思う。</p>	<p>観光地のホスピタリティの象徴としてトイレの設置、改善は大切なことと認識しているが、設置費用、清掃等維持管理など多額の費用が必要となります。誰のためのトイレなのかということも含め、設置場所と必要性、すべて税金で賄うのかどうかといった経費負担などについて、慎重に検討する必要があります。</p>